

実施計画事業名		農業生産基盤整備事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		建設産業部 農政課		課長(主幹)名	相馬 義則			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化					
	施策	2	安全・安心な農畜産物の供給に努めます					
	関連施策							
現状と課題	低位生産性草地の整備、畜産生産施設整備、機械器具の大型化による農道整備等を総合的に実施し、効果的な地域畜産の安定させる。							
目的	本市の農業の生産力を高め、安定したゆとりのある農業経営を確立し、国際競争に負けない安全・安心な農畜産物を供給できる農業を創造する							
5ヶ年展開の	生産性向上によるコスト低減を図り経営を安定させる為、草地造成・草地改良・生産施設等の基盤整備を推進します。また、生産物の輸送の円滑化・効率化を図り、生産環境と生活環境を向上する為、農道の整備に努めます。(草地造成改良整備・畜産施設整備・農道整備等)							
成果指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度	
	草地基盤整備面積		ha	目標	384.81	628.05	-	
説明	各整備事業で整備を行った草地の面積			実績	437.80	374.00		
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度	
	受益農家戸数		戸	目標	181	201	20	
	説明	各整備事業を要望した農家の戸数		実績	77	84		
	施設整備数(牛舎)		棟	目標	1	3	-	
	説明	各整備事業で整備された牛舎の数		実績	0	1		
	施設整備数(バンガーサイロ)		基	目標	1	3	-	
	説明	各整備事業で整備されたバンガーサイロの数		実績	0	2		
道路整備延長		m	目標	507	845	-		
説明	各整備事業で整備された農道の延長距離		実績	172	485			
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	121,762	97,135	297,074	<H23内訳> 国の補正による事業の前倒しがあったが、H23に繰越した。 (H23への繰越、152,144千円あり)	
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	6,591	9,486	29,266		
	起債		千円	25,200	13,100	0		
	その他		千円	87,057	70,905	248,461		
	一般財源		千円	2,914	3,644	19,347		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.15	0.85	0.85		
人件費(B)		千円	7,965	5,772	5,772			
計(A+B)		千円	129,727	102,907	302,846			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 道営草地整備事業国の事業見直しのため1年先送りとなった。ただし、パワーアップ事業(草地整備を実施するにあたり、農家の負担が少額で済む道制度)は、当初の予定どおり平成22年度末で廃止となったため、駆け込みで整備する状況が見受けられた。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測) b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)
	<cの場合は、なぜかを分析して記入する> 成果指標について、本年度の実績が大幅に下回っているのは、国の追加補正により決定した整備分(約125ha)が、年度内に完了せず翌年度に繰り越されたことが最大の要因である。また、各整備事業は、個々の農家の整備に対して国と道と市町村が補助を行いながら進める性格のものだが、農家の負担も伴う。乳価や配合飼料の高騰が続く状況もあり、結果的に目標面積まで至らなかったが、地域から要望があったものについては100%実施することができたので概ね目標は達成できたものと捉えている。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 豊別地区、稚内地区の草地整備については平成23年度で終了、また沼川地区農道整備、沼川北部地区畜産担い手育成総合整備事業については、平成24年度で終了する予定であるが、草地整備改良は生産コストの低減につなげられるものであることから、酪農畜産経営の安定化を図るためにも、新たに同様の事業を実施し継続して基盤整備を進めていく。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--